

会 議 録

会議の名称	平成25年度第3回行田市市民公益活動推進委員会
開催日時	平成25年11月26日(火) 開会：午後2時00分 閉会：午後4時10分
開催場所	行田市男女共同参画推進センターVIVAぎょうだ 2階学習室
出席者氏名	金原二郎委員、串田隆義委員、園田佳代子委員、織田和美委員、鈴木孝佳委員、今村武蔵委員、村澤洋委員、齋藤貴美子委員、長谷川龍委員、野本翔平委員、松井秀二郎委員、田尻要委員、矢本政子委員、浅見知正委員、栗本広宣委員、阿部隆久オブザーバー、木村奏太オブザーバー
欠席者氏名	関川忠彦委員、中村博行委員、稲葉誠一委員、加藤修委員、矢部正オブザーバー
事務局	門倉課長、吉田主査、秋田主事
会議内容	<p>司会 吉田主査</p> <p>1 開会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>(1) (仮称) 行田市市民公益活動推進基本計画策定作業について</p> <p>① 前回策定作業の続き及びまとめ</p> <p>② グループごとの発表及び意見交換</p> <p>③ 発表及び意見交換を受けての策定作業(グループワーク)</p> <p>(2) その他</p> <p>4 閉会</p>
会議資料	<p>平成25年度第3回市民公益活動推進委員会次第</p> <p>「(仮称) 行田市市民公益活動推進基本計画」について(イメージ図)</p> <p>(仮称) 行田市市民公益活動推進基本計画作業シート</p>
その他必要事項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会
委 員 長	2 委員長挨拶
司 会	3 議題
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長に議事の進行をお願いする。 ・議事に入る。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題（１）「（仮称）行田市市民公益活動推進基本計画策定作業について」事務局より説明をお願いする。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・「（仮称）行田市市民公益活動推進基本計画」について、計画をイメージ化した資料について説明。
議 長	<p>本日は、最初にグループごとに前回の策定作業をまとめ、発表していただいた後、意見交換等を経て委員全員で意見の共有を図りたい。その後、改めてグループごとの策定作業に入ってください。</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回策定作業の発表にあたり、５分程度で意見をまとめていただきたい。
議 長	<p>< ５グループごとのまとめ作業 ></p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・時間となったので「①参加のきっかけづくり」グループから発表をお願いする。なお、発表時間は各グループ５分、発表の後の質疑を１０分とする。時間厳守でお願いしたい。
議 長	<p>< ①グループ発表 ></p>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・参加のきっかけづくりのグループでは、市民活動にどのように関心をもってもらうか、どのように活動に巻き込むかという議論になった。現状では、どこに行けば市民活動に関する情報が得られるか分からないので、情報を集約する拠点としてのサポートセンター等が必要なのではないか、拠点を作った場合はその周知方法についても考える必要があるとの意見があった。また、市内のNPO法人の情報などをまとめた冊子や一覧表を作る必要があるのではないかという意見もあった。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・①グループの発表に関して何か意見等はあるか。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信や、人材の掘り起こしは難しい問題だと思う。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・熊谷市は団体情報を冊子にまとめたものがある。また、加須市などは市民活動に関する広報誌など発行しているが、そのような情報媒

議長	<p>体を見なければ情報は入らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続いて「②活動活性化への仕組みづくり」グループから発表をお願いします。
委員	<p><②グループ発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動活性化への仕組みづくりグループでは、市民活動が活動をしていない市民に見えていないのではないかと、やる気応援助成金等の助成制度も認知度が低いのではないかと意見があった。そこで、団体同士を組織化するため、みずしろや空き教室や空き店舗などをサポートセンターとして活用し、イベント等で他団体の活動を知る仕組みをつくと共に団体のNPO法人化を促進する必要があるとの意見もあった。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・②グループの発表では、拠点と窓口を一本化する、NPO法人化を推進するという意見があった。何か意見等はあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の活性化を考えるにあたって、何をもって活性化とするかについて聞きたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の話の中では、その点まで議論が進んでいない。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて「③交流の機会、ネットワークづくり」グループから発表をお願いします。
委員	<p><③グループ発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の機会、ネットワークづくりグループでは、団体間の交流、市民と団体との交流、様々な地域主体間での交流の3本柱に沿って考えたが、それぞれに似かよった意見が出された。交流の場がない、団体同士が交流しようとせず自己完結してしまっている、他団体に関心がないなどの意見があった。団体と市民との交流では、やる気があっても団体の情報がないので知る機会や始める機会がない、そもそも市民活動を始める意識を持っていない市民もいるのではないとの意見があった。また、団体は困りごとを表に出さず市民に壁を作っているとの意見もあった。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・③グループの発表に関して何か意見等はあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・団体が交流する意識がないという意見があったが、自分が活動をしている中では他団体と交流する余裕がないというのは確かにある。しかし、交流の中から情報を得ることもあるので、交流は必要であ

<p>議 長</p>	<p>る。例えば同じ分野の団体同士の協議体をつくり、共に活動することや情報交換をすることもできる。また、市報等で活動を取り上げられると団体の活動意欲も高まるということもあるので、活動を取り上げる機関も大切ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流する意識がないという問題については、現時点で交流することについてのメリットに気づいていない団体もあるかもしれない。同じ分野で活動している団体同士で協議体をつくるという例も大変参考になる。また、外部評価の必要性も理解できる。中間支援組織があればその役割を担えるかもしれない。 ・ 続いて「④協働の推進」グループから発表をお願いする。 <p><④グループの発表></p>
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働の推進グループでは、協働する団体をどう把握するか、団体と企業とをつなげる手段をどうするかなどの意見があった。また、協働の主体同士の出会いや交流の場創出のため活動スペース等を設ける必要がある、人材バンク等の立ち上げが必要である、様々な市民活動団体へ協力を呼びかける必要があるなどとの意見があった。
<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ④グループの発表に関して何か意見等はあるか。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働というと行政と市民との協働というイメージがあるが、その認識でよいか。
<p>事 務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働は、行政と市民だけでなく、団体と企業、団体同士など様々な形がある。
<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ目的に向かって、様々な主体同士が協力し合うことである。自分の団体が持っていない知識を持っていると協働しやすいと思う。 ・ 続いて「⑤支援するための仕組みづくり」グループから発表をお願いする。
<p>委 員</p>	<p><⑤グループの発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援するための仕組みづくりグループでは、やはり宮代町市民活動サポートセンターのような中間支援組織が必要だという前提に立って、その方法について検討した。中間支援組織の運営主体としては、①市民公益活動推進委員会が主体となる方法、②既存の団体が主体となる方法、③新規団体が主体となる方法の3つの方法がある。①②が主体となった場合、実現性があり早く取り組めるが既得権益が

	<p>発生するといったデメリットが考えられる。③では団体を育成する期間が必要になるが既得権益がないといったことや活動に新しいアイデアを取り入れられるといったメリットもある。いずれの団体が主体となった場合も、行田市の将来を考えてフェアな立場で活動する、若者や女性を外部から引き込むことができる組織がよいとの意見があった。</p>
<p>議 長 委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・⑤グループの発表に関して何か意見等はあるか。 ・行田が発展するために何が重要かということのみを考えてくれる人がよい。
<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも現状分析は進んできていると思う。まだ議論が掘り下げられていない部分もあると思われるので、各テーブルに用意した新しい作業シートに基づき、改めて策定作業に移っていただく。終了予定時刻は午後4時を予定している。
<p>議 長</p>	<p>< 5グループでの策定作業 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・間もなく策定作業終了の時間になるが、5分程度で本日のまとめを行っていただきたい。 ・前回もお話したとおり、各グループの進捗状況に応じて個別に集まるなどして策定作業を進めていただきたい。何かあれば私か事務局へ連絡をお願いします。 ・以上で本日の議題を全て終了とする。 ・議長の職を解かせていただく。
<p>司 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は12月16日(月)の午後1時30分から行田市産業文化会館2階の2A、2B会議室で行う。 ・以上で平成25年度第3回市民公益活動推進委員会を閉会とする。